

■「レコフ M&A データベース」操作のワンポイントアドバイス

【第 66 回】『この約 20 年間の大型買収案件を振り返る』

最近、数千億円台買収案件の発表が相次ぎ、レコフ M&A データベースのデータが引用された 2015 年 11 月 10 日付日本経済新聞でも「日本企業の海外 M&A 初の 10 兆円乗せ」の見出しがつけました。そこで今回は長期間での大型案件を把握できるよう 1996 年以降、約 20 年間の大型買収案件を抽出してみます。

【検索条件指定】画面

1. ■データ種別を「M&A」、■検索期間(ここでは 1996/01/01~2015/10/31)、■形態で買収、■金額規模の左の欄に「100000」(単位:百万円)入力、右の欄は空欄のまま「一覧表示」ボタンをクリック

※ 右の欄を空欄にすると収録されている(指定範囲での)最大額まで抽出します。

※※検索結果が 5000 件以上ある場合表示されません。その場合は入力する金額を調整してください。

①ここを選択

②黄色部分を変更入力、またはカレンダーで選択

③ここを選択

④左欄に数値を入力

⑤ここをクリック

The screenshot shows a search interface with several callouts: 1. A red box highlights the 'M&A' checkbox under 'データ種別'. 2. A red box highlights the date range '1996/01/01 ~ 2015/10/31'. 3. A red box highlights the '買収' checkbox under '形態'. 4. A red box highlights the input field '100000' in the '金額規模' section. 5. A red box highlights the '一覧表示' button at the top right.

【データ一覧】画面

2. 検索結果の画面を右にスクロール、「金額(百万円)」の項目をクリックして降順に並べ替える。「全件選択」、「エクスポートボタン」の順にクリックし、項目選択したら EXCEL ボタンをクリック。

①ここをクリックして金額を降順にする

②ここをクリック

③ここをクリック

「金額」が見えるまで右へスクロール

クリック後に現れる画面で項目選択を行ってからエクスポートで「EXCEL」ボタンをクリック。

エクスポート CSV EXCEL

※CSV形式も選べます

The screenshot shows a table with columns for '株取得先', '金額(百万円)', '市場', '業種', and '所在地'. Callouts 1, 2, and 3 point to the '金額(百万円)' column header, the '全件選択' button, and the 'エクスポート' button respectively. A large purple arrow points right with the text '「金額」が見えるまで右へスクロール'. A purple callout box contains instructions on how to use the 'EXCEL' button.

3. エクセルで加工(次ページへ)

1996年から2015年10月末までの大型買収トップ20

	公表日など	当事者1	当事者2	金額(百万円)	マーケット
1	2006/12/15	JT(日本たばこ産業)	ガラハ-	2,253,000	IN-OUT
2	2003/06/10	預金保険機構	リソナホールディングス	1,960,000	IN-IN
3	2006/03/18	ソフトバンク(受け皿会社:BBエール)	ホーダフォン(ホーダフォングループ)PLC(日本法人)	1,917,200	IN-OUT
4	2012/10/15	ソフトバンク	スプリント・ネクスTEL・コーポレーション	1,812,100	IN-OUT
5	2014/01/14	サントリーホールディングス	ビーム	1,679,360	IN-OUT
6	2011/05/20	武田薬品工業	ナイロメット	1,108,608	IN-OUT
7	2001/03/14	タイコ・インターナショナル	CITグループ[第一勧業銀行]	1,100,000	OUT-IN
8	2012/05/21	原子力損害賠償支援機構	東京電力	1,000,000	IN-IN
9	2015/06/11	東京海上日動火災保険	HCCインシュアランス・ホールディングス	941,300	IN-OUT
10	2007/03/06	シテイグループ・ジャパン・インベストメント・エルエルシー	日興コーディアルグループ	920,035	OUT-IN
11	2008/04/11	武田薬品工業(買付目的会社:マカニアクイジション)	ミレリアム・ファーマシューティカルズ	899,888	IN-OUT
12	2015/02/18	日本郵便[日本郵政]	トール・ホールディングス	724,917	IN-OUT
13	2013/07/03	三菱東京UFJ銀行[三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)]	アウタ銀行	722,294	IN-OUT
14	2015/09/08	三井住友海上火災保険	アムリン	642,000	IN-OUT
15	2015/07/24	明治安田生命保険	スタンコブ・フィナンシャル・グループ	628,375	IN-OUT
16	2006/01/24	東芝、The Shaw Group Inc.、石川島播磨重工業(IHI)	BNFL USA Group Inc.、ウエスタン・ハウス(WH) UK Limited	621,000	IN-OUT
17	2006/02/28	日本板硝子	ピルキントン	616,000	IN-OUT
18	2000/05/08	NTTコミュニケーションズ	ペリオ	600,000	IN-OUT
19	2008/07/11	新生銀行、アプラス	GEコンシューマー・ファイナンス(GECF)(ゼネラル・エレクトリック日本法人)	580,000	IN-OUT
20	2014/06/05	第一生命保険	プロテクトタイプ	578,060	IN-OUT

この約20年間の大型買収案件はほぼ、クロスボーダー案件でした(2位と8位のIN-INは公的資金注入や原発事故という特殊なケース)。また、OUT-IN 2件に対してIN-OUTは16件の8倍。

1位となったのは2006年のJTによるガラハ-買収で、9年近くも首位を維持しています。この案件は大型案件というだけでなく、1999年のRJRナビスコ買収案件とともに同社の成長に大きく寄与したM&Aとしてもしばしば取り上げられています。

JTと同様、国営から民営化したという背景を持つ日本郵便は12位(2015年)に、NTTコミュニケーションズ(2000年)は18位にランクイン。NTTコミュニケーションズは2001年度中間決算においてペリオ関連で評価損等6000億円を超える特別損失を計上しました。日本郵政によるトールの舵取りの今後が注目されます。

今や円安でもクロスボーダーM&Aの勢いは衰えません。日本企業にとっては為替リスク以上に人口減のリスクが大きく、金額が大型化しても海外企業の買収は取るべき道のひとつとなっているようです。